

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立新神田小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校5年生:令和8年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	32.0	46.0	15.0	7.0	0.0
問2	英語科の勉強は大切だ。	76.0	17.0	5.0	2.0	0.0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	27.0	61.0	10.0	2.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	22.0	49.0	17.0	12.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	27.0	32.0	32.0	10.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	85.0	10.0	5.0	0.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	76.0	12.0	12.0	0.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	44.0	41.0	15.0	0.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	17.0	46.0	22.0	15.0	0.0

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	55.5	29.8	12.9	0.7	1.1
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	58.1	28.3	11.4	1.5	0.7
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	58.5	29.0	11.0	1.1	0.4

②指導改善の具体策

【英語科】 ・コミュニケーションを主に授業で扱ってきたこともあり、質問をしたり答えたりすることに抵抗を感じない児童が多くいることが分かる。その反面、書くことや読むことについては、やや苦手を感じている児童が多いことが分かった。特に、読むについては金沢市と比べても低い結果となっている。授業の中で、意識的に基本文法などを学ぶ活動を取り入れていく。
【デジタル科】 ・一学期、二学期と比べて、どの項目も肯定的回答が増えている。授業の中でのICTの活用が当たり前ようになってきたこと、そして、それが自分の考えや学びを相手に伝える一つのアイテムとなっているということを児童が実感していることが分かる。さらに、積極的にICTを授業以外でも取り入れていくことで、児童のデジタル力を高めていきたい。それと共に、ICTのマナーやルールを守っていくこと、危険性などのDC教育にも指導していきたい。

③学校関係者評価

現在では、日本にはインバウンドの方も増え、また、仕事の種類においては英語は日本語と同じように使いこなす時代である。小学生の頃から、英語に親しむことはとても良いことである。そこで、勉強する小学生の目標として、独自の英検や目標を設定するなど、児童が将来を見据え、もっと英語を学ぶことに必要性を持たせるようにしてはどうか。
--